

日本道德教育学会第108回(令和8年度秋季)大会プログラム

日本道德教育学会 会長 貝塚 茂樹
第108回大会運営委員長 荒木 寿友
同 運営副委員長 堀江 未来

日本道德教育学会会員及び関係各位におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、第108回(令和8年度秋季)大会を立命館大学(大阪いばらきキャンパス)で開催させていただき運びとなりました。多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。

大会テーマ

多文化共生を支える道德教育

【大会テーマ設定の趣旨】

急速なグローバル化が進む中、国籍・言語・文化・宗教など異なる背景をもつ人々と共に生活することが日常となりつつあります。2024年時点で、日本に住む外国人の数は過去最高を更新し続けており、学校現場においても、外国にルーツをもつ子どもたちの増加や多様な文化の広がりなど、異なる価値観や生活様式に向き合う機会が増えています。しかし、こうした多様性への対応は、外国人や海外との関わりに限定されるものではありません。日常生活の中で出会う他者との「違い」をいかにプラスに転じていくかという課題につながっています。つまり、価値観が多様化する現代社会において、私たちがいかに共に生きていくかを考える多文化共生教育の重要性が、より一層高まっているといえます。

道德教育は、自己の生き方、人間としての生き方を考え、主体的な判断のもとに行動し、自立した一人の人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道德性を養うことを目的としています。その本質は、多文化共生の理念と深く結びついています。異なる文化や価値観に触れる中で、自らの考えを見つめ直し、対話を通して共に生きる社会を築いていく資質・能力を育てることは、これからの学校教育においてますます重要になるでしょう。

そこで本大会では、「多文化共生を支える道德教育」をテーマに掲げ、学校現場における指導や教材の工夫、地域や家庭との連携、多文化共生の理念を支える道德教育のあり方を多角的に検討します。個々人の違いを超えて共に生きていく力を育む道德教育の実践を共有し、インクルーシブで持続可能な学校教育の構築に貢献したいと考えています。

【大会概要】

- 1 開催日: 令和8(2026)年11月28日(土)~29日(日)
- 2 会場: 立命館大学(大阪いばらきキャンパス)
- 3 主催: 日本道德教育学会
- 4 後援: 文部科学省(予定)、大阪府教育委員会(予定)、全国小学校道德教育研究会
全日本中学校道德教育研究会、全国公民科・社会科教育研究会
- 5 参加費: 会員・一般参加: 4,000円 / 学部学生: 2,000円
情報交換会費(会員のみ): 6,000円

- 6 参加申込: 日本道德教育学会のウェブサイトから、あるいは次のURLのPeatixか
右のQRコードから参加申込をしてください。

<https://peatix.com/event/5156731>

大会参加の申込は、11月15日(日)までです。

なお、大会当日の参加申込は、原則的にできません。事前申込にご協力ください。

- 7 大会事務局 立命館大学朱雀キャンパス 教職大学院荒木寿友研究室
〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1

e-mail: [jsme108ritsumeikan@gmail.com](mailto:j sme108ritsumeikan@gmail.com) (問い合わせはメールにてお願いいたします。)



大会日程

大会1日目 令和8(2026)年11月28日(土)		
10:00~	大会参加受付	【A棟2階 ロビー】
10:30~12:30	ラウンドテーブル 4部会	【B棟2階、C棟4階】
12:30~13:30	昼食・休憩	
13:30~13:50	開会行事	【A棟2階 AN210】
14:00~15:10	基調講演: 小川 さやか (立命館大学先端総合学術研究科教授 学校法人立命館副総長)	【AN210】
	演 題: タンザニア商人の「人生多様化」戦術—他者の人生に賭けることの豊かさをめぐって	
15:30~17:30	自由研究発表① (各発表:発表20分、質疑10分)	【A棟3階、C棟4階】
18:00~20:00	情報交換会	【C棟1階 OICカフェテリア】
大会2日目 令和8(2026)年11月29日(日)		
8:30~	大会参加受付	【A棟2階 ロビー】
9:00~11:50	自由研究発表② (各発表:発表20分、質疑10分)	【A棟3階、C棟4階】
12:00~13:15	昼食・休憩	
13:15~15:45	シンポジウム: 「多文化共生を支える道德教育」 コーディネーター: 堀江 未来 (立命館大学教授) シンポジスト: 丸岡 慎弥 (立命館小学校教諭): 小学校実践者の立場から 山本 理恵 (千葉県山武市立山武北小学校教諭): 中学校実践者の立場から 堀田 竜次 (文部科学省初等中等教育局教科調査官): 文部科学省の立場から 孫 美幸 (文教大学准教授): 多文化共生教育研究者の立場から	【AN210】
15:45~16:00	閉会行事	【AN210】

大会 | 日目【令和8(2026)年11月28日(土)】

■ラウンドテーブル<4部会>(10:30~12:30)

会場：B棟2階、C棟4階

第1部会

【C471】

テーマ 道徳科の「深い学び」を実装するインサイドアウト思考を考える

企画者： 田沼 茂紀(國學院大學・名)
司会者： 田沼 茂紀(國學院大學・名)
報告者： 治田 和也(千葉県流山市立おおぐろの森小学校)
鎌田 賢二(京都府京都市立修学院小学校)
尾崎 正美(岡山県瀬戸市立国府小学校)
及川 仁美(岩手県盛岡市立厨川中学校)
龍神 美和(桃山学院大学)

指定討論者： 田沼 茂紀(國學院大學・名)

第2部会

【C472】

テーマ 主体的な生き方を探求する子どもの道徳学習をつくる—多様性の包摂を軸に「我が事から我ら事へ」を問い直す—

企画者： 幸阪 創平(東京学芸大学附属竹早小学校)
司会者： 和井内 良樹(宇都宮大学)
報告者： 佐藤 淳一(東京都町田市立相原小学校)
岡山 貴洋(東京都小平市立上宿小学校)
久我 隆一(東京都調布市立上ノ原小学校)
古見 豪基(埼玉県和光市立第四小学校)

指定討論者： 永田 繁雄(東京学芸大学)

第3部会

【B275】

テーマ 「当事者性」から道徳教育を問い直す

企画者： 走井 洋一(立教大学)
司会者： 走井 洋一(立教大学)
報告者： 木原 一彰(鳥取県鳥取市立面影小学校)
町田 晃大(東京都大田区立梅田小学校)
磯部 光泰(千葉県木更津市祇園小学校)

指定討論者： 足立 佳菜(佐賀大学)

テーマ 子どもの心が動くとき、道徳科の学びはどのように深まるのか？(Ⅱ)一心の動きから問いを抱く学習過程に着目して—

企画者： 松原 好広（麗澤大学大学院）

司会者： 松原 好広（麗澤大学大学院）

報告者： 武宮 優太（品川翔英中学高等学校）

大谷 秋音（東京都渋谷区立松濤中学校）

石川 寛（栃木県宇都宮市立泉が丘中学校）

指定討論者： 富岡 栄（麗澤大学大学院道徳教育センター）

鈴木 明雄（麗澤大学大学院道徳教育センター）

■ 開会行事（13:30～13:50）

会場：AN210

- | | |
|-------------|-------------------|
| 1 会長挨拶 | 貝塚 茂樹（日本道徳教育学会会長） |
| 2 開催校挨拶 | サトウ タツヤ（立命館大学副総長） |
| 3 大会運営委員長挨拶 | 荒木 寿友（立命館大学） |

■ 基調講演（14:00～15:10）

会場：AN210

小川 さやか（立命館大学先端総合学術研究科教授 学校法人立命館副総長）

演 題 タンザニア商人の「人生多様化」戦略—他者の人生に賭けることの豊かさをめぐって

■ 自由研究発表①<8分科会>(15:30~17:30)
(各発表:発表20分、質疑10分)

会場：A棟3階、C棟4階

第1分科会	司会：林 敦司(兵庫大学)	【AN321】
15:30~16:00	吉松 智昭(大阪教育大学附属平野小学校)/高木 信俊(大阪教育大学附属平野小学校) エージェンシーの育成のためのカリキュラム開発ー探究学習と道徳科の統合の可能性についてー	
16:05~16:35	原口 友輝(中京大学) 道徳教育の観点からみたホロコースト関連施設における「困難な歴史」教育	
16:40~17:10	村上 恵理(独立行政法人国立病院機構 栃木医療センター) 若年者におけるACP文化の醸成を目指した死生学教育ー美術館における対話型ワークショップの実践ー	
17:15~17:45	平 真由子(金沢工業大学) 道徳教育における「よりよく生きる」とは何かー心理学的ウェルビーイング概念からの検討ー	
第2分科会	司会：西野 真由美(東京家政大学)	【AN322】
15:30~16:00	Bayasgalan Oyuntsetseg(中央学院大学) 多文化共生を支える伝統文化教育ー日本とモンゴルの道徳教育の比較からー	
16:05~16:35	平岡 秀美(玉川大学) ドイツ・ブランデンブルク州のLER科に関する検証プロジェクトと政策転換動向:「生活形成」(Lebensgestaltung)概念の取り扱いを手がかりに	
16:40~17:10	中野 真悟(福島大学) 小学校教科書教材におけるいじめ態様に関する場面の傾向	
17:15~17:45	竹井 秀文(愛知県名古屋市吉根小学校) 学校一体型道徳プログラムの構想と構築ー公德心を高める学校づくりを目指した道徳プログラムの一考察ー	
第3分科会	司会：島 恒生(畿央大学)	【AN323】
15:30~16:00	尾崎 雅斗(愛知県名古屋市立御器所小学校) 多面的・多角的な思考を促す生成AI活用の実践研究	
16:05~16:35	由良 健一(奈良女子大学附属小学校) 道徳科における子どもの自己調整と価値理解の変容に関する研究ー子どものめあて・おたずね・ふりかえりの関連と教師による主題設定・発問に着目してー	
16:40~17:10	松下 恭平(愛知県名古屋市立平針北小学校) 小学校道徳科における「寛容」指導の難しさについて考える	
17:15~17:45	尾花 桃代(千葉県船橋市立法典西小学校) EAMA道徳が児童にもたらすものは何かー「手品師」の3校における実践の分析からー	

第4分科会	司会：柴原 弘志（京都産業大学・名）	【AN324】
15:30～16:00	辻 和希（福知山公立大学） 現代アートと道德教育の接続を目指して	
16:05～16:35	片山 健治（岡山県立岡山大安寺中等教育学校） 災害時のSNS情報をどう判断するかー中学校第1学年における問題解決型の道德授業の量質統合分析ー	
16:40～17:10	高宮 正貴（武蔵野大学）/杉本 遼（宝仙学園小学校）/ 宮崎 貴耶（大阪府枚方市立春日小学校） 「道德命題集」を活用した授業づくりー教師による道德的知識の提示を通して	
17:15～17:45	吉田 誠（山形大学）/神保 秀太郎（山形大学附属中学校） 「生徒が自ら問いを創造する道德授業」の実現におけた移行モデルの提案2ー生徒が立てた問いを用いた視点自覚型授業の実践と検証ー	

第5分科会	司会：中野 啓明（新潟青陵大学）	【AN325】
15:30～16:00	山敷 真央（東京学芸大学）/範 蘭心（東京学芸大学） 道德科の教科書、工夫の実際、計画化に対する教師の受け止めと問題意識ー小・中学校教員対象調査の結果からー	
16:05～16:35	町田 晃大（東京都大田区立梅田小学校） 道德科における本質観取の位置づけー「共通理解の形成」と「自己の生き方についての考えを深めること」の接続ー	
16:40～17:10	和田 誠司（東海学院大学） 持続可能な社会の創り手を育む道德科内容・方法の動的一体化ー葛藤の「編み直し」としなやかな「理解の転移」を保障するカリキュラム設計ー	
17:15～17:45	阿部 知宏（埼玉県鶴ヶ島市立長久保小学校） 対話を通して自己の生き方についての考えを深める道德科の実践ー「ブランコ乗りとピエロ」を題材にしてー	

第6分科会	司会：杉中 康平（四天王寺大学）	【C471】
15:30～16:00	小山 久子（昭和女子大学現代教育研究所）・押谷 由夫（昭和女子大学・名） 道德科授業の見取りに関する研究(2)ーローカルLLMによるハイブリッド的な見取り支援ー	
16:05～16:35	小野 太郎（兵庫県伊丹市立摂陽小学校） 道德科における授業改善のための評価ー道德的判断力の育成のためにー	
16:40～17:10	藤井 裕喜（京都府京都市西賀茂中学校） 今どきの中学生に寄り添う授業計画についての一考察	
17:15～17:45	谷口 雄一（摂南大学） 児童が立ち上げる生成的な道德科単元学習ー「幸せ」をめぐる問いの生成・転換・深化を通してー	

第7分科会 司会：浅見 哲也(十文字学園女子大学)

【C472】

- 15:30～16:00 有吉 淳(福岡県北九州市立竹末小学校)
教材「手品師」の授業論ー教師が教材と価値をどう解釈し、子どもに何を考えさせるのかー
- 16:05～16:35 藤木 美智代(千葉県船橋市立法典西小学校)
特別支援学級における道德教育
- 16:40～17:10 佐藤 郷美(東北福祉大学)
全盲の視覚障害教員による道德科授業実践における協働的支援の在り方ー大学教員との授業づくりの事例からー
- 17:15～17:45 杉浦 浩(兵庫県神戸市立多聞の丘小学校)
特別支援学級におけるエンカウンターを活用した道德教育ーオーセンティックな感情を視点とした多文化共生の基盤形成ー

第8分科会 司会：柳沼 良太(岐阜大学)

【C473】

- 15:30～16:00 真壁 佑輔(北海道札幌市立上野幌中学校)
中学校におけるアプリ『カッシート』を活用したリフレクションの試行ー教育実習生の語りの分析からー
- 16:05～16:35 古見 豪基(埼玉県和光市立第四小学校)
4E認知理論に基づく「探究道德学習」のカリキュラム・デザインーエナクティブな「問い」の生成から地域サービス・ラーニングへの拡張と身体化を通してー
- 16:40～17:10 田村 匠(東京学芸大学)/浅部 航太(東京学芸大学)
EthExモデルに基づく「道德的感受性」を育む総合単元の開発と実践ージョイント・ディスプレイを用いた混合研究による考察ー
- 17:15～17:45 山本 理恵(千葉県山武市立山武北小学校)
文化的少数者を“説明役”にしない道德教育ー「共通善」を捉えた道德科のアプローチと多文化社会における可能性ー

■ 情報交換会(18:00～20:00)

会場：C棟1階 OICカフェテリア

大会2日目【令和8(2026)年11月29日(日)】

■ 自由研究発表②<7分科会>(9:00~11:50) (各発表:発表20分、質疑10分)

会場：A棟3階、C棟4階

第9分科会	司会：和井内 良樹(宇都宮大学)	【AN321】
9:00~9:30	森田 あゆみ(早稲田大学教育学研究科) 「地平の融合」と「善き生」ーチャールズ・テイラーから考える道德教育ー	
9:35~10:05	安部 日珠沙(岐阜聖徳学園大学) 道德教育における人格の定義に関する一考察3	
10:10~10:40	片川 儀治(広島県広島市立狩小川小学校) アイデンティティ教育の実践と展望	
10:45~11:15	高口 涼(静岡県富士市立東小学校) 「畏敬の念」の道德科授業実践に向けての基礎的研究	
11:20~11:50	安部 孝(名古屋芸術大学) 幼児の道德性・規範意識の芽生えについての考察 ー折り合いを付けることの道德的意義ー	
第10分科会	司会：鈴木 由美子(広島大学・名)	【AN322】
9:00~9:30	岡島 佑樹(岐阜県海津市立平田中学校) AI倫理観の育成を目指した道德科授業の開発実践 ー生成AIをめぐる道德的葛藤に着目してー	
9:35~10:05	河野辺 貴則(四国大学短期大学部) 初等中等教育における子どもの権利擁護を題材にした指導例示の傾向と特色 ー道德科との接合点に着目してー	
10:10~10:40	齋藤 道子(目白大学)/澤井 史郎(インターナショナルイスラミヤスクール大塚) 多文化共生社会を支えるこれからの道德教育についての一考察 ームスリムの人々との共生視点からー	
10:45~11:15	山田 美香(名古屋市立大学) 2020年代マカオの道德教育	
11:20~11:50	清水 勝平(茨城県つくば市立島名小学校) 道德教育における複数の学習経験とこどもの自己の捉え ー一定期間の振り返りに着目してー	
第11分科会	司会：堀田 竜次(文部科学省初等中等教育局教科調査官)	【AN323】
9:00~9:30	佐伯 康輔(岐阜県本巣市立真正中学校) 多面的・多角的に考え、多様な気づきを促す問いの在り方	
9:35~10:05	賞雅 技子(東京医療保健大学・非) 道德科の授業づくりー教師の言葉ー	

- 10:10~10:40 藤田 雄也(上越教育大学 上廣道德教育アカデミー)
 道德科における情意と認知の往還に関する一考察—小学校第3学年 内容項目「正直, 誠実」の授業を通して—
- 10:45~11:15 及川 仁美(岩手県盛岡市立厨川中学校)
 社会につながる道德科の授業づくり~共生社会を主体的に考える授業のあり方について
- 11:20~11:50 山田 貞二(岐阜聖徳学園大学)
 教師伴走型の生徒自走式授業(SDL)のあり方に関する実践研究

第12分科会

司会：高宮 正貴(武蔵野大学)

【AN324】

- 9:00~9:30 砂川 大輔(福岡県糸島市立可也小学校)
 自己の生き方を探究する児童を育てる「深さ志向」に着眼した道德科学習指導の一方途
- 9:35~10:05 近野 秀樹(立命館慶祥中学校・高等学校)/磯部 一雄(立命館慶祥中学校・高等学校)/
 仲井 義人(和歌山県紀の川市立粉河中学校)/杉中 康平(四天王寺大学)
 「同一教材連続型多視点授業」が拓く「ing」の学びの可能性—「動き」と「学びを結ぶ時間」による重層的思考の育成—
- 10:10~10:40 阪本 景子(愛知県東海市立名和中学校)
 価値葛藤を扱う道德授業における発問と学習者の思考に関する研究—複数の価値への着目に焦点を当てて—
- 10:45~11:15 石井 裕起(千葉県千葉市立都賀の台小学校)
 子どもと協働した「問題」づくりの過程—教師と子どもがともに「問う」道德科授業を目指して—
- 11:20~11:50 中野 啓明(新潟青陵大学)
 「振り返り」の記録のデータベースを基盤とした道德科授業モデルの基礎的開発

第13分科会

司会：渡邊 真魚(日本大学)

【AN325】

- 9:00~9:30 杉本 遼(宝仙学園小学校)
 生成AI時代の道德授業の可能性を考える
- 9:35~10:05 鈴木 賢一(愛知県弥富市立十四山東部小学校)
 道德授業におけるAI活用の効果と課題—異なる意見の提示が児童の思考に及ぼす影響に着目して—
- 10:10~10:40 猪岡 養子(秋田県横手市立大森小学校)
 道德授業における子どもの見取りと、自身の省察に関する実践的探求
- 10:45~11:15 藤原 悠太(静岡県三島市立佐野小学校)
 自ら考えを広げ・深める道德授業づくり—低学年児童の学び方の傾向をふまえた振り返りの工夫を通して—
- 11:20~11:50 田中 大輔(千葉県浦安市立入船中学校)
 道德科における「学習としての評価(Assessment as Learning)」の実践原理の構想—「関係に基づく評価(Relational Evaluation)」の視点から—

第14分科会

司会：白木 みどり(金沢工業大学)

【C471】

- 9:00～9:30 安井 政樹(札幌国際大学)
「R7版中学校『特別の教科 道徳』教科書」に関する一考察 第2報
- 9:35～10:05 増田 千晴(愛知県江南市立宮田中学校)
マイケル・トマセロの道徳性に基づく道徳教材の開発と実践
- 10:10～10:40 佐藤 淳一(東京都町田市立相原小学校)
児童が考え、議論する道徳授業の実現に向けた教材開発とその妥当性の検証ー「自然愛護」の自作教材「山を歩く」の開発と三つの授業実践の比較を通してー
- 10:45～11:15 那倉 康知(兵庫教育大学)
「考え、議論する」授業の一つの提案ー「二通の手紙」で何を考えるかー
- 11:20～11:50 松浦 康太(京都教育大学附属桃山小学校)
「特別な教科 道徳」における授業実践ー対話型論証モデルを用いた有効性の検証ー

第15分科会

司会：田沼 茂紀(國學院大学・名)

【C472】

- 9:00～9:30 森川 敦子(比治山大学)/高橋 均(広島大学)
異なる道徳的価値を扱うPBAOD道徳教育プログラムの効果ー道徳科と特別活動の連携を図った小学校3年生の実践比較を通してー
- 9:35～10:05 佐々木 篤史(青森県五所川原市立五所川原第三中学校)
生成AIとの対話は教師の授業観をどう変容させるかー生成AIとの協働的対話を通じた道徳科授業力形成の試みー
- 10:10～10:40 星 美由紀(福島県郡山市市立郡山第三中学校)
多文化共生を支える道徳教育の可能性ー身近な他者理解から始まる国際理解・国際貢献の実践ー
- 10:45～11:15 山崎 智子(千葉県旭市立中央小学校、千葉大学大学院)
道徳科における校内研修体制の一提案ー道徳科デザインシートの活用と短時間研修の定例化等を通してー
- 11:20～11:50 瀬戸山 千穂(群馬県前橋市立粕川中学校)
道徳科授業における問い返しを支える教師の判断に関する一考察

■ シンポジウム(13:15~15:45)

会場：AN210

「多文化共生を支える道徳教育」

コーディネーター： 堀江 未来(立命館大学教授)

シンポジスト： 丸岡 慎弥(立命館小学校教諭):小学校実践者の立場から

山本 理恵(千葉県山武市立山武北小学校教諭):中学校実践者の立場から

堀田 竜次(文部科学省初等中等教育局教科調査官):文部科学省の立場から

孫 美幸(文教大学准教授):多文化共生教育研究者の立場から

■ 閉会行事(15:40~16:00)

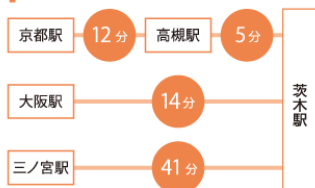
会場：AN210

- | | |
|-----------|---------------------|
| 1 次回開催校挨拶 | 浅見 哲也(十文字学園女子大学) |
| 2 副会長挨拶 | 西野 真由美(日本道徳教育学会副会長) |

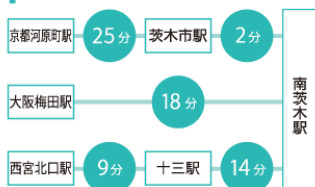
会場までのアクセス

*一般来場者用駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

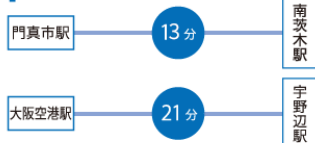
JRでお越しの方は



阪急電鉄でお越しの方は



大阪モノレールでお越しの方は



※所要時間に乗り換え時間は含みません。



大会への参加にあたって

■申込方法・参加費納入方法（発表等を申し込まれた会員も参加申込が必要です）

日本道德教育学会のホームページ、または右のQRコードからPeatixのサイトに入ってください、「大会への参加申込」からお申し込みください。大会参加の申込は、11月15日（日）までです。



なお、大会当日の参加申込は、原則的にできません。事前申込にご協力ください。

また、入会手続きのない会員及び年会費未納の会員は、発表資格がありません。ご注意ください。

■大会受付

11月28日（土）午前10時、11月29日（日）午前8時30分より、A棟2階のロビーで受付を行ないます。受付にてネックストラップの参加証をお受け取りいただき、大会会期中ご着用ください。（参加費等の領収証が入っています。）

■発表用資料

発表者各自で50部程度ご用意ください。

■宿泊先について

宿泊先については、会員各自で手配するようにお願いいたします。観光等の宿泊により宿泊客の増加が予想されます。早めの予約をお勧めいたします。

■昼食について

11月28日（土）・29日（日）は、学生食堂は営業していませんが、キャンパス内および近隣に、コンビニやスーパーマーケットがございます。（混雑が予想されるため、お弁当等をご持参されることをお勧めいたします。）

■情報交換会

情報交換会の参加費は、6,000円になります。Peatixで大会参加費と同時に納入してください。会場は、C棟1階のOICカフェテリアです。

■ラウンドテーブル及び自由研究発表会場の施設・設備

学内ではeduroamをご利用いただけます。eduroamのユーザーID・パスワードは、事前に所属機関にて取得・確認の上、ご自身のアカウントで認証してご利用ください。所属機関でeduroamが利用できない場合は、大会参加者専用アカウントを準備委員会より発行いたしますので、受付にてお申し出ください。

■その他

大会期間中は、クローク等は設置していません。基本的には、荷物は各自で管理するようお願いいたします。ただし、ご不便を感じられる場合には、どうぞご遠慮なく、事前もしくは当日に受付にてご相談ください。